≪競技運営上の確認事項≫

1　競技は、2023 年度（公財）日本バレーボール協会 6 人制競技規則及び競技要項による。
（1）　リベロ・プレーヤーは、試合ごとに２名まで登録することができる。
（2）　ネットの高さは、男子 2.30m、女子 2.15mとする。
（3）　大会使用球は、(公財)日本バレーボール協会検定 4 号球、人工皮革カラーボール(女子:モルテン V4M5000、男子：ミカサ V400W）とする。

2　トーナメント戦方式とし、すべて３セットマッチとする。（ラリーポイント制　２５点）

3　３位決定戦を行う。

4　本大会では、給水のためのタイムアウト（WTO）を実施しない。よって、うちわも使用できない。

5　プログラム記載時刻は、プロトコールを行う時刻とする。27 日(土)、28 日(日)とも設定時刻を設けて大会を進める。

6　大会第１日目・27 日（土）のコートオフィシャル（補助役員）については以下の表に示す通りとする。表中の数字は、抽選枠番号とする。オフィシャルの人数はラインズマン４名、点示２名の計６名で行う。
オフィシャル該当チームは、ラインズマンフラッグをチームで準備したものを使用する。

男子１日目 試合順	対戦カード Ａコート	コートオフィシャル （補助役員）	対戦カード Ｂコート	コートオフィシャル （補助役員）
第１試合	２ｖｓ３	１	１７ｖｓ１８	１９
第２試合	１ｖｓ第１試合勝	第１試合負け	１９ｖｓ第１試合勝	第１試合負け
第３試合	８ｖｓ９	６	１１ｖｓ１２	１０
第４試合	６ｖｓ７	８	１０ｖｓ第３試合勝	１１
第５試合	４ｖｓ５	１６	１３ｖｓ１４	第４試合負
第６試合	１５ｖｓ１６	４		

女子１日目 試合順	対戦カード Ｃコート	コートオフィシャル （補助役員）	対戦カード Ｄコート	コートオフィシャル （補助役員）
第１試合	２ｖｓ３	１	１８ｖｓ１９	２０
第２試合	１ｖｓ第１試合勝	第１試合負け	２０ｖｓ第２試合勝	第１試合負け
第３試合	８ｖｓ９	１０	１２ｖｓ１３	１１
第４試合	１０ｖｓ第３試合勝	第３試合負け	１１ｖｓ第３試合勝	第３試合負け
第５試合	４ｖｓ５	６	１６ｖｓ１７	１４
第６試合	６ｖｓ７	４	１４ｖｓ１５	１６

なお、大会第２日目・28 日（日）のコートオフィシャルについては、第１試合目は第２試合の両チームから４名ずつ、第２試合目は第１試合の両チームから４名ずつ、第３試合目は第１試合の負けチームから８名、第４試合目は第２試合の負けチームから８名で行う。

7　試合が設定時刻より遅れた場合には、コートの準備が整ったら速やかに５分間の合同練習に入る。なお、試合が連続する場合については、最低１０分の休息をとり、その後合同練習に入る。試合が連続し、なおかつフルセットになった場合には、最低１５分の休息をとり、その後合同練習に入る。

8　試合コート及びフロアーでのボール使用は、合同練習、公式練習、セット間（フリーゾーンのみ）以外は認めない。また、ロビーなどでのボール使用は禁止するものとし、他は会場使用規定に従う。
※　５分間の合同練習でのボール使用については、パス程度とする。
※　Ｄコートについては５分間の合同練習でのボール使用は、アタックヒット可とする。
※　Ａ、Ｃコートについても第６試合に限り、合同練習でのボール使用は、アタックヒット可とする。
※　試合終了から次の試合の合同練習までに時間があく場合のコート使用については、柔軟やランニング程度のコート使用のみとし、ボールは使用できない。

9　監督は当該校の管理職・教員・部活動指導員であり、引率者としての責任を負う。クラブチームは、代表者または指導者として有効に登録されている大人が引率者としての責任を負う。コーチが外部指導者（コーチ）の場合は、当該校の校長が認めたものとする。

10　監督・コーチ・マネージャーは、規定のマークを左胸部につけること。規定の章がない場合は、ベンチに入れない。また、マネージャーは生徒（中学生）に限る。外部指導者は外部指導者（コーチ）証をつけること。管理職は、学校で使用している名札を着用すること。

11　監督・コーチは統一された服装でベンチに入ることが望ましい。（短パン・ランニングは不可）
また、指示・助言・指導のマナーについては十分留意すること。

12　エントリーの変更・訂正は、初日の代表者会議時に所定の用紙を提出し、これ以外の変更・訂正は、いかなる場合も一切認めない。

13　試合間のコートチェンジは実施する。試合開始・終了後の選手握手は行わない。エンドライン整列後アタックラインに寄って拍手することをあいさつに代える。

14　その他
（１）　本大会は観覧制限をしない。
（２）　土足と上履きの区別をつけ、アリーナは必ず上履きに履き替えること。
（３）　緊急車両や体育館管理者から、利用者への要請や要望があった場合、全試合の運営を一時中断することがある。また、体育館北側の駐車場は工事中のため、自由広場（芝生広場）の駐車場を、マナーよく利用する。
（４）　体育館入場時刻は原則自由とするが、感染症予防対策としてプログラム記載されている当該試合プロト時刻の３０分前の入場が望ましい。ただし、オフィシャルが当たっているチームについては、オフィシャル担当試合のプロト時刻３０分前とする。
（５）　荷物置場のための観客席の割り当ては、抽選番号奇数のチームは北側、偶数のチームは南側を使用することとする。チーム間は密にならないように間隔を空け、チーム内でも席を１つずつ空けて着席する。
（６）　保護者応援のための観客席の割り当ては、原則、チーム・選手の控え席と同じサイドの応援スペースを割り当てる。ただし、奇数同士、偶数同士の対戦になった場合は、ベンチが空くサイドに新規で入るチームが応援スペースを構えることとする。